

めぐみイエス・キリスト教会

2024年9月1日(日)第一主日礼拝

午前10時より

週報「通算第721号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌236「あだに世をば過ごし」 p. 358

【交読文】 No.46 詩篇第148篇 p. 915

【賛美Ⅱ】 新聖歌468「やがて天にて」 p. 754

【使徒信条・主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「アバ・父よ」

【聖書朗読】 ルカの福音書6章32節～36節(新約p. 122上段)

【礼拝説教】 《いと高き方の子ども》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄与」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカの福音書6章32節～36節)

6:32 「自分を愛してくれる者たちを愛したとしても、あなたがたにどんな恵みがあるでしょうか。罪人たちでも、自分を愛してくれる者たちを愛しています。

6:33 自分に良いことをしてくれる者たちに良いことをしたとしても、あなたがたにどんな恵みがあるでしょうか。罪人たちでも同じことをしています。

6:34 返してもらおうつもりで人に貸したとしても、あなたがたにどんな恵みがあるでしょうか。罪人たちでも、同じだけ返してもらおうつもりで、罪人たちに貸しています。

6:35 しかし、あなたがたは自分の敵を愛しなさい。彼らに良くしてやり、返してもらおうことを考えずに貸しなさい。そうすれ

ば、あなたがたの受ける報いは多く、あなたがたは、いと高き方の子どもになります。いと高き方は、恩知らずな者にも悪人にもあわれみ深いからです。

6:36 あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くなりなさい。」

●ポイント1. 「罪人」とは？

※エペソ人への手紙2章1節～3節「不従順の子らの中」(新約p.385)

2:1 さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、
2:2 かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。

2:3 私たちもみな、不従順の子らの中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

●ポイント2. 「自分の敵」とは？

※エペソ人への手紙6章12節「血肉に対するもの」(新約p.392)

6:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。

●ポイント3. 「いと高き方の子ども」とは？

※ローマ人への手紙8章14節～16節「御霊によって」(新約p.309)

8:14 神の御霊に導かれる人はみな、神の子どもです。

8:15 あなたがたは、人を再び恐怖に陥れる、奴隷の霊を受けたのではなく、子とする御霊を受けたのです。この御霊によって、私たちは「アバ、父」と叫びます。

8:16 御霊ご自身が、私たちの霊とともに、私たちが神の子どもであることを証ししてくださいませ。

◎先週の礼拝メッセージ【あなたがたの敵を愛しなさい】

《「あなたがたの敵を愛しない。」この時、主イエスの御前に集まっていた群衆や十二使徒たちは、主の言葉には耳を疑ったに違いありません。しかし、主イエスは、やがて十字架の上において、ご自身が語られたことを実行されるのです。その情景を見る事が出来たのは、ゼベダイの子ヨハネとシモン・ペテロ、それから、数人の女性たちでした。『「父よ、彼らをお赦し下さい。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」』

主は、「あなたがたを呪う者たちを祝福し、あなたがたを侮辱する者たちの為に祈りなさい」と言うことを、十字架の上において実行されたのです。また、ローマ兵たちは、主イエスの上着を四等分にして分けあい、一枚の下着を誰の物にするのか、くじ引きにしました。まさしく、「あなたの上着を奪い取る者には、下着も拒んではいけません」と言う言葉が成就しました。主は、身を持って、ご自身の教えを、弟子たちに示されたのです。そのことをペテロは、後に、証しています。『キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残された。キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。』と。

日本は信仰の自由が保障されています。よって、かつての安土桃山時代のキリシタン迫害のような大きな迫害はありませんが、敵である悪魔は、私たちの信仰を弱らせ、また祈らさせないようにと、攻撃して来ます。家庭においては家族が、職場においては上司や同僚などが、敵に用いられたりするのです。そのような場合には、まず神様に祈り求めることが大切です。パウロは、『あなたがたを迫害する者たちを祝福しなさい。呪ってははいけません。悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。』と、勧めています。》

お知らせ

※次回は9月8日(日)第二主日礼拝は、午前10時から行ないます。